

ハンドブック  
ワンポイント  
レッスン

# 知っておきたい規則とルール

## Question

今年 (H22) 度の1級審判員検定会・研修会時に質問された問題です。

以前、機関誌のワンポイントレッスンにパートナーとのレシーブの順序を誤った場合については失ポイントであるが、「サービスの前にアンパイヤーが気付いた場合はローテーションチェンジのコールによって、パートナーとのレシーブの順序を交替するようにさせます。インプレー後に気付いたら、タイムを取ってレシーバーにインターフェアを宣します。」と記載されていたと思いますが、レシーブの場合、レシーバーのどちらがレシーブするかはレシーブを行なった結果でなければ順序の誤りはわからないのではないのでしょうか。

## Answer

レシーブの順序の誤りはレシーブを終了してからでないと判定できない。

ご指摘の通り、レシーブの場合、レシーバー二人のポジションが離れていて明らかに順序が誤りであろうと気付いても、理論上、サービスを行うプレイヤー以外のポジションの制約はありませんので、レシーバーのどちらがレシーブするかはレシーブが終わった結果でなければ順序の誤りは判明しないことで、レシーブを終わらない前に判定する表現が誤りでした。

従って、機関誌2010年8月号の「サービスの前にアンパイヤーが気付いた場合はローテーションチェンジのコールによって、パートナーとのレシーブの順序を交替するようにさせます。」の記載は誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。また、機関誌2010年6月号の「サービス・レシーブとも誤りに気付いた場合アンパイヤーが指導（ローテーションチェンジ）することの提案があり、サービスの誤りについては失ポイントにはしないことに改訂し、レシーブについては日本競技規則以来のインターフェアとして失ポイントとすることにしました。」については、レシーブが終わった後で、気付いた（判明した）場合に「ローテーションチェンジ」を適用し、そのポイントに限り失ポイントにするものですので、説明が不十分であったことをお詫びします。

過去、日本国内競技規則においては、サービスの順序の誤りについても失ポイントとしていた期間がありましたが、現行の国際・国内規則とも、サービスは「2人のプレイヤーは同一ゲーム中に2ポイントずつ交替でサービスを行い、同一ゲーム内ではサービスの順序を替えることができない。」となり、パートナーとのサービスの順序の誤りが発見された時に、次のポイントから正しい順序にする（誤りが第1サービスのフォルトの後に発見された場合は、その時点で正しい順序に訂正し、第1サービスから行う。）こととし、アンパイヤーが発見した時は、「ローテーションチェンジ」とコールして正しい順序に訂正することとなりました。一方、レシーブについては、同一ゲーム内でのパートナーとのレシーブの順序の誤りについては「インターフェア」として誤りが発見されたそのポイントは失ポイントになっており、従来から変わっていません。



### 【関連規則】

競技規則第30条（レシーブ時の失ポイント）(5)

競技規則第33条（サービスの順序又はサイドの誤り）第1項(2)及び第2項  
ジュニア審判マニュアル

8. レシーブ (2) レシーブでポイントを失うときはどんなときか? ⑤

9. サービス・レシーブのチェンジとサイドのチェンジ

(4) サービスの順番やサイドの間違いがわかったら? ③ ⑤